

講義名	ブライダルコーディネーション論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
			ナンバリング・コード	BRL280	

主題と概要

ブライダルコーディネーション論の知識を統合し、公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定のアソシエイト・ブライダルコーディネーター検定合格をめざすと同時に、国家検定ブライダルコーディネーター技能士3級合格も視野に入れて学びを深めます。
 新規接客業務を理解し、ロールプレイをとおして接客語法を身に着け、プレゼンテーション能力を高めます。結婚式・披露宴のプランニングには、多彩な婚礼意匠の知識が不可欠です。伝統的な慣習や地域独自の風習から、海外文化を取り入れた新奇性のある商品まで、幅広い知識を身につけます。そのうえで、顧客にニーズに対応したウェディングを企画・提案することを、実習をとおして理解することができます。また、グローバル化が進んで、婚嫁の多様性が認められる社会において、国際結婚や在日外国人の結婚式、また、海外からの招待客への対応も、ますます求められています。海外の婚礼文化について学び、グローバル化するブライダルビジネスに対応するための知識を得ることができます。
 獲得した幅広い知識を、自身の新たな視点で再構築して、新しいブライダル商品を生み出すことを試みます。グループワークにより、ウェディングと観光を連関させたプランや、新しい演出などの考案に取り組みます。プレゼンテーションに対し、ホテルの方の講評をいただき、実用可能性を検討します。
 また、本講義の最終試験として、アソシエイト・ブライダルコーディネーター検定を受験します。講義中の検定対策をとおして、合格を目指します。

到達目標

1. ブライダルに関する用語を身につけ、活用できる。
2. ブライダルコーディネーターの業務を理解し、必要な基礎知識を身につける。
3. 授業内でのロールプレイングを通して、打ち合わせに必要な語術を修得する。
4. アソシエイト・ブライダルコーディネーター認定資格を取得することができる。
5. 海外の婚礼文化を理解し、グローバル化するブライダルビジネスに対応することができる。

提出課題

平常レポート 授業のテーマに対して、情報収集・整理・分析した結果をポータルを通じて報告していただきます。
 検定対策試験

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内で情報を共有し、フィードバックします。
 また、検定対策適法向の解説を行います。

評価の基準

定期試験 100%

履修にあたっての注意・助言他

アソシエイト・ブライダルコーディネーター及び、ブライダルコーディネーター技能士3級合格には、ブライダルコーディネーション、及びブライダル事業論を履修し、知識を修得することが必要です。

教科書

.ブライダルコーディネーターテキスト（スタンダード）	（公社）日本ブライダル文化振興協会	（公社）日本ブライダル文化振興協会	3850	000000
----------------------------	-------------------	-------------------	------	--------

参考図書

.なし。

その他

授業計画

- 第1回：新規接客業務 新規接客業務を理解し、ブライダルマーケットの現状を把握する。
- 第2回：新規接客業務：ヒアリング ロールプレイをとおして、名刺交換や接客語法、ヒアリングの方法を学ぶ。
- 第3回：新規接客業務：ペーパーワーク 約款や申込書、招待状の準備と発送など、事務的知識を得る。
- 第4回：新規接客業務：幅広い顧客対応 日本各地の婚礼風習や特産物や、伝統的な風習を学び、幅広い世代へ対応する。
- 第5回：グッドウェディングアワード研究 現在活躍するプロのプランナーが行った実際のプランニングとプロデュースを研究する。
- 第6回：海外の婚礼文化 アメリカンウェディング アメリカの結婚式とウェディングプランナー
- 第7回：海外の婚礼文化 欧米の婚礼文化とキリスト教結婚式
- 第8回：海外の婚礼文化 レセプションとウェディングスケジュール
- 第9回：海外の婚礼文化 ヨダヤ教・イスラム教・ヒンズー教
- 第10回：ブライダルフェアとブライダル商品開発 企業の戦略を研究し、新しいブライダル商品を開発する発想力を養う。
- 第11回：ブライダル商品開発 グループワーク
- 第12回：ブライダル商品開発 プレゼンテーション
- 第13回：試験対策 コーディネーター業務の知識の再確認
- 第14回：検定模擬試験対策
- 第15回：検定模擬試験 定期試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次の授業で扱う教科書の範囲をお伝えしますので、教科書を予め読み、質問を考えてきて下さい（予習90分程度）。
 授業で得た専門用語や知識は、復習で確実に覚えるようにしてください（復習120分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目は、ブライダル関連企業での就業に必要な知識を学び、国家検定合格へ導くものです。
 検定合格という明確な目標に向かって努力し、専門知識を深めることは、本学の学位授与・学位授与の方針と一致します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

テキストの内容に基づき情報収集したうえでのディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を獲得することができます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
 （公社）日本ブライダル文化振興協会 認定ブライダルコーディネーター職種技能検定「指定試験機関技能検定委員」ブライダルプロデュース会社経営、結婚式増額顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成を担った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考